京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲郵稅一ケ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

雜報

警察機關の擴張(一)
(昨年中に於ける)

韓國警察機關の配備は頗る稀薄なるが爲め其實力偏隅に普及せざるは創業の際止むを得ざる數なりとす之を疆土の面積に比較し人口の步合に照し日本各府縣及臺灣若くは關東州の現況に對比するに及ばざる事遙に遠し殊に五千浬の沿岸線と無數の群島を有するにも拘はらず從來水上警察機關の設備殆ど絕無なりしが如き或は一駐在所にして其區域五六十方里を有するものあるが如くは當局の常に遺憾として止まざる所にして夙に之が充實上苦心畫策する所ありと雖とも由來韓國財政の狀況は獨り警察機關の膨張のみを容さず而も時勢の進化に伴ひ諸般の設備勃興し保維機關に待つべきもの益增加し到底現狀維持を以て滿足するを得ず警察機關の擴張を促す事急なるを以て財政の狀態に鑑み徐ろに施設の方針を執り前年度の豫算上計畫する所に從ひ本年度一月內部令第一號を以て龍山警察分署は同地の發展に伴はしむべく之を獨立の警察署に改め日人警視を以て署長に補し又咸鏡北道羅南駐在所及平安北道北鎭駐在所は警察事項多きを以て之を警察分署に改め同地方の便宜に適せしめ日人警部を以て署長に補し新に全羅南道順天警察署管內に巨文島駐在所を平安北道定州警察署管內に新府駐在所を增設し黃海警察署は位置不適當なるを以て登德に移して登德警察署と改め鎭南浦警察署は往々鎭南浦警察署と混同せられ易きを以て其名稱を統營警察署と改め其他地勢及交通上の關係より警察署若くは巡査駐在所の管轄區域を變更分合したるもの十六箇に及び同時に內部訓令第五號に據り日人巡査百三十七人韓人巡査三十人を增員し各道に配置せり又二月勅令第十三號を以て警視廳官制を改正し(未完)

木浦の綿花市場

▲木浦稅關支署調査

▲本收穫期に於ける出廻高 棉花の本收穫期に於ける木浦市場に出廻りたる數量は一月末迄に既に繰棉にありては約九百二十八萬五千斤餘之を時價平均百斤に付七圓五十錢とするときは六十九萬六千四百圓餘に當り又米棉に在りては約四十万斤時價平均百斤に付八圓六十二錢とするときは三萬四千四百八十圓に達し之を前年及び前々年度の同期に比較すれば殆んど二倍以上の多數に達し實に未曾有の盛況を極めたり而して尙ほ各地方生產地に殘留するもの尙百斤內外ありといふ

▲出廻高の多き原因 本年棉花の出廻多く斯く盛況を爲したる原因は稀有の豐作なるに由るとは雖も昨年は米國棉花不作の爲め木棉騰貴の影響を受け韓綿も亦從つて騰貴したる爲め從來は韓人が紡織用として使用すべき綿花をも放賣したると從來光州地方の棉花が交通不便の爲め市場に出して不引合なりしに昨春以來道路開通せられたる結果有利の出合を見るに至りたると又一方には暴徒鎭定に歸し日本人の深く內地に入り込みて買出に從事することを得たるとによれり

▲綿花の產出地 全羅南道光州地方に產出するものは好良ならざるも此等諸島に於ける韓綿作は遠く高麗朝の時代には政府に於て奬勵し來りたりと云ふを以て其產額も亦少からず特に本年は濟洲島に於て初めて試作し千斤を當港へ廻送せり價格百斤に付八圓十錢と云ふに至りては蓋し其良性たることを知るに足るべし

▲金融に於ける影響 右綿花に對し韓國銀行出張所及び第十八銀行支店が昨年十二月末日までに貸付たる金額は八拾二萬の多きに至れりと云ふ又前記綿花の生產地に於ては日本人の深く內地の買出に從事したる爲め紙幣及び補助貨幣散在して從來の韓錢は殆んど之を見ず是れが爲め韓人間及び在留日本人間にも又賣買上の便を有するに至れり

▲綿花產出時期 九月廿日頃を以て出廻りの初期とし翌年四月頃を以て終る就中最も盛なるは十一月及び十二月の兩月とす(未完)

地方通信

▲釜山通信

▲所謂愛婦の活動 愛國婦人會と云ふとハイカラとれ轉婆を直ぐ連想さるゝが釜山支部は其れとは大なる反對で中々眞面目である而して活動も振つて居る其れにれ愛嬌を振り蒔く事も中々上手であると云ふたら所謂的の愛國婦人連中の機に御多聞に漏れる樣だが決して左樣な事は無く專心愛國に傾注して居る近日中に總會を開き更らに多數の會員を募集せんと活動方針を考究しつゝある尙過日委員一同は東萊に至り福原大佐及び各傷病兵の慰問に赴きたるが本月二十日頃には第十二回の慰問に赴く筈なりとはさぞ傷病兵は喜ぶ事であらう

▲元山通信(七日發)

▲最近の北韓漁況 新浦方面にて明太漁獲以來引續き相應の漁獲ありたるも手操網にあるものは終期に近づきたるため漁場は漸次新昌、遮湖方面に移り刺網漁業に轉じたるもの多く且つ韓正月も早餘す處僅かに一兩日なれば韓人は何れも引上げたるため昨今にては出漁するも僅々五六百艘に過ぎず一日の漁獲高は一艘三十馱平均位なるが市場不況のため價下落して馱の相場十二圓五六十錢なり而して元山灣の漁業は殆んど休止の狀態にして數艘の船出漁するに止まるも鰊の漁獲多く元山附近のみでは賣切ざる有樣にて一尾の價一錢五厘位なり

▲豹皮續々出づ 近年來に於て一年間に漸く一頭乃至二頭位の捕獲より他になかりしも本年は一月早々より獵中々盛んにして何れも韓人が捕ふるものなるが昨今各皮屋の店先に晒されあるも家每に二十枚位あり位つて價格も安價にて大抵二十五六圓なりと

日本銘刀傳
第四十四席 邑井一講演



此の時一時に十四五人打つてかゝれば、流石の上田源之助も三面六臂の鬼神ならねば、身体殆んど谷まる處へ躍り出でたる神樂の藤兵衛 藤「兄弟、汝の命は俺が助けてやる、遣損つたら骨を拾つてやる、サア神樂が出たから安心しろ」振回つた源之助 源「ン、忝けない貴樣が出りやあ龍に水だ片つ端から斬つて呉れる、鳴戶の長兵衛是れへ出ろ」處へ鳴戶の長兵衛彼方によろ〳〵蹌踉くところへ斬込んだ柳光流、源之助が太刀尖鋭く何んでう堪まらん肩先へ斬込まれ、返す刀で脇腹を劈かれ、臟腑出でゝ倒れたが爲め、跡の奴等はバラ〳〵と逃げ行く者を此處に一人、彼處に一人、斬つて棄てたる上田の早業、流石に廣き住吉松原も、時ならざるに唐紅、早くも此の事を町方にて知つたるか、御用〳〵の聲凄じく、れ話變つて此方には天下茶屋へ駕籠を着けた江戶奴の庄吉 庄「ドレ出掛けやうか」と茶屋で一杯茶を飲んで再び駕籠へ這入らうとする處へ○「待つた〳〵」と聲かけて、駕籠の棒鼻を留め ○「オ主が行つては身のためにならねエ」と言つたものがある、これは誰でございませう庄吉が住吉へ行かうと云ふのを押へたのは、當時五本の指に數へられたる曾根崎の彌作と云ふ男でございます 庄「オ、彌作か、何んで俺の駕籠を留めた 彌「別に何んで留めた譯ぢやアねエ、れ主がてれから住吉に行き、鳴戶の長兵衛と互に命の取遣りをするといふのは余んまり馬鹿氣て居るから止したら宜からうと斯う思ふ 庄「そりや又何せだ 彌「れ主も當時人に知られた江戶奴、高が知れて居るちぼ、巾着切、其樣な野郎を相手にして、江戶奴とも言はるゝ者が命を棄てたら詰らぬ、處で斯う云ふ話がある、俺が和郞の處に行つたときに、彼の神樂の藤兵衛と上田先生が和郞に色々意見をしたが親分が肯かねエから先廻りをして住吉へ行つて、鳴戶の身內を斬つて〳〵斬捲くり、そこで俺達が死んだらば兄哥骨を拾つて呉れと俺に賴みなすつたゆゑ、諾しさうゑふたら曾根崎が及ばずながら骨を拾てやると請合込んだ、夫れゆゑ今朝乾兒を連れて夜の明けぬ中住吉に來て樣子を見ると云ふと、鳴戶の身內が參々伍々、此處や彼處に集つて主の來るのを待つて居た、今花町の花造をやつたから何んとか返事があるだらう返答があるまで待つて呉れ 庄「余計なことをしやがるなア、江戶奴と云ふ俺も肩書のある庄吉だ、掏賊や巾着切のために威嚇かされちやア、ならねエから乾兒を一同置きざりにして、一人で行つて此の身体を膾にされる了簡だ、俺の身体が膾にされりやア……掏賊の奴等あ殘らず狩られ、奉行の手で島行か永の牢は極つて居る、然うしたら市中の者は大きに盜賊に遭はねエから都合が好からうと思つてやつた仕事、夫れちやア上田や神樂奴が、俺を出拔いて行きやあがつたか、餘んまり酷いことをしやあがつた、併し奴等のことだから萬更ひちも食ふめエまア、一休み休まうか」江戶奴の庄吉も曾根崎の彌作といふは御承知の通り豐太閤殿下がれ腰をれ掛け遊ばして、爰で釜を立つてた茶を召上つたと云ふ處、千の利休細川幽齋の方々かられ取持をして、殿下がれ腰を休めたと云ふので、天下茶屋と云ふ、爰に今二人が居ると云ふと、息急切つて飛んで來た花町の花造 花「親分はん、爰に居でなはつたか、ヤアてりやア日本橋の親分はんも來居でなはつた 彌「ヤア花造、住吉の樣子は何うだ 花「何うも斯うもありやアしまへん、上田さんは剛いれ方や、長刀を引拔やはつて、大勢來るのをトツト相手にしやはつた住吉の松原、宇治の金八を殺つて仕舞ひなはれ、惠比羅の紋平を斬りやはつた、するといふと大勢一同に掛つて來て、何うなるかと思つて居ると、神樂の藤兵衛はんが棒を持つて飛び込んで來て、擲つた〳〵氣持の好いほど擲りやはつた冊雞持は胸が斯う下る位、すると又上田はんが斬つて〳〵きり捲くり鳴戶の長兵衛は腹腸が出て死んでけつかつた。」

東京電報

●外相と英國大使

官邸に催したる日英同盟紀念晩餐會席上に於て小村外相及英國大使マクドナルト氏の演說左の如し(十四日)

▲小村外相の演說　追懷すれば本同盟の初めて締結せられたるより將に八年其の間世界の關係に多大の變遷ありて新たなる協商協約の締結を見たるも[illegible]

▲英國大使の演說　閣下並に諸君[illegible]

●外相と韓國關稅

本日關稅改正委員會に於て小村外相は韓國に特別の關稅率を設くることは不可なりと言明したり(同上)

▲東宮殿下御避寒　皇太子殿下には[illegible]明十五日再び葉山御用邸に御避寒あらせらるゝ旨漏れ承る(同上)

●總務長官の新任說

[illegible]此際本官を任命するは必要なるを認む[illegible]任者の必ずしも不適任なるを認めざる以上如何に彼を更迭せしむるは政治途上[illegible]何を出づるは三野心家の運動に據るものなり云々(同上)

●借替と歐米信用

今回の四步利借替は我財政に對する歐米の信用を高め各市場に於て價格を騰貴せしめつゝあるが從來倫敦市場に於て我公債は我四步利五步利公債に比し[illegible](同上)

●韓銀の株主總會

韓國銀行第一回株主定時總會は來る十七日東京商業會議所樓上に開會當日の出席者は吉田內藏治代理及韓國政府代表者四十餘名一日にて終了の見込なり(同上)

●曾禰統監の歸期

統監は病氣の如何に不拘本月中に一切の政務と打合せ議定の對韓策を解決して二月前後に歸任すべしと[illegible]

●櫻丸と臺灣航路

櫻丸補助金は下院に於て削減せられたるに拘はらず大阪商船會社にては郵船會社に對抗上更に一ヶ年の損失を顧みず臺灣航路を維持する事に決定したり(十五日)

●駐韓師團の交替

滿韓駐韓師團の交替期は愈々四月に變更されたり而して駐韓軍交替派遣隊は第二師團なり(同上)

●國庫債權償還

政府は第二回國庫債權三千萬圓を抽籤償還する事に決したるが抽籤は二十五日に執行する筈なり(同上)

●帝國育英會組織

矢野恒太[illegible]々發起人となり全國[illegible]進學の費に窮し居るものにして拔群のものを選び天下有用の材たらしめん目的にて帝國育英會を組織し廣く勸誘中也(同上)

●對韓同志會員

對韓同志會の五百木良藏、大谷誠夫兩氏等は本日寺內陸相を訪問し韓國政局の現狀に關し[illegible]所ありたり(同上)

雜報

●韓國鐵道の內容

四十三年度より十一年計畫を以て着手さるべき韓國鐵道工事の內容に關し大屋局長の談左の如し

▲京義線●●は鴨綠江架橋工事完成の曉には東洲南洲の諸鐵道と連絡する事となるを以て輸送力を增加する爲之が改良工事を行はざる可らざる必要あり四十三年度より[illegible]年繼續費として五百[illegible]るが是は主として橋[illegible]四十哩以上に亘れる[illegible]使用する筈にて來る[illegible]鴨綠江架橋工事の開通[illegible]非とも之を竣成せし[illegible]

▲京元線●●は即ち京城より元山津に至る百三十六[illegible]んとするものにして[illegible]向して日本海に通ず[illegible]元來韓國鐵道は專ら[illegible]道後漸次修繕を加へ[illegible]むる方針なれども本[illegible]の狀況上全線を開通[illegible]されば其の效果乏し[illegible]嶺山獄重疊して輕便[illegible]ては到底實用に堪ゆ[illegible]事を以て不完全なから[illegible]れば諸線に先ちて之[illegible]中には本工事の一部[illegible]九年までには開通せ[illegible]

▲湖南線●●は京釜線[illegible]より分岐しリリーを經て木浦に至る[illegible]一哩半と更にリリー[illegible]山に至る十三哩間に[illegible]り本線路に沿へる地[illegible]眞に平野曠茫地味豐[illegible]一の米產地なれば短[illegible]に開通の利益を受く[illegible]毎に開通せしめ以て[illegible]定なり工事も頗る容易にして經費も從つて少ければ是れ亦五十年までには一先開通せしむべき計畫なり▲平南全線●●は京義線の平壤より分岐して鎭南浦に至る三十四哩間に敷設すべき線路なり是れは本年中には一先づ全線を開通せしめ修繕を加へつゝ漸次完全なる鐵道とする豫定なり、之を要するに以上の諸線路は財政の許す限り假令京元線なりとも成るべく之を速成せしむる方針にて斯くて一旦開通したる後漸次修繕を加へて豫定計畫の十一箇年までに一先づ普通の鐵道に仕上ぐる豫定なり勿論東濟安峯の諸鐵道を迎して少しの申分なからしむるには全線を複線とするの必要あり其の他種々の設備を要する事なれば尙之を十數年後に待たざるべからざるは論なきなり

東拓の不正衡器

東拓會社に對する世人の批難は啻に京城に於けるのみならず地方に在ては更に甚しきを極め居るが如し現に其一例を示せば同社が收納する小作米は田畑所在地の有力者に依托しあるが彼等をして使用せしめつゝある衡器の如き公差甚しく不正律にして過日某地に於て之を探りたるに米一俵に對し驚く可き事實を發見せり則ち小分度を以てすれば二百四十五斥を示めし更に別箇に分度を以て計量すれば二百五十九斤を現はし加之甲乙兩名其体幅を計りたるに甲は百四十五斤乙は百十六斤半ありて之を合すれば二百六十一斤半となる然るに兩人相抱いて之を計りたるに二百四十九斤半を示めし其差實に十二斤を見たり均しく一臺の衡器として分度每に其量を異にし或は又物の場合に依りて其差を出すが如き何とも呆然たらざるを得ざるべし斯かる不正衡を敢用して無智の韓民を欺き若しくは收納米の賣買を爲すに到りては東拓會社の前途も寒心に堪へざる次第なり思ふに同社は之が罪を依托者に歸せんも小作人又は購買當事者は決して爾かく信せず全く同社の狡猾手段に依るものと思惟しつゝありと某氏は如上の實例を示めして語れり(電通)

議會と日韓關稅

十四日午後兒玉政府委員より統監府石塚長官に宛て左の電報ありたり

本日午後關稅定率法改正委員會にて外務大臣は日韓兩國間の關稅に就きては韓國には韓國の現行條約あり帝國にも亦現行條約存在す而も最惠國條欵の適用を受くるより現在に於ては日韓關稅同盟等兩國間に限り關稅上の特別關係を結ぶことを得ず然して韓國條約は帝國の條約改正と同時に之をなさず追て適當の時期に於て之を行ふ考へなるに依り今回の條約改正に於ては帝國より韓國に輸入する物品に對し關稅上特別の取扱をなすの取極めをなすに至らずと雖も我保護國たる韓國より帝國に輸入する物品に對しては關稅上特別の取扱をなし日韓兩國の爲又帝國の利益を計らんか爲め或は減稅を行ひ或は無稅となし而も列國をして之に均霑せしめざる取極めをなすの方針なりと言明せり其の結果兩國は經濟上に於ても特種の關係を結ぶことゝなり韓國より帝國に輸入する穀物の如きも他の外國より帝國に輸入するものに比し特別の恩惠を受るの途あるに依り穀物輸入稅增率の問題は之により解決さるゝ者と云ふべし

既定道路と豫算

韓政府治道費豫算は隆熙四年度內部所管臨時部に於て二十六萬四千圓を計上しあるが當局者の說明によれば該豫算額にては到底既定計畫の全部を遂行するに足らざるが如し今既定計畫の總里數及其竣工距離を聞くに左の如し

區間	總距離 里、町	竣工距離 里、町
鎭南浦平壤間	一三、〇八	一〇、二九
木浦光州間	二三、〇五	二〇、三三
大邱慶州間	一七、一八	一七、一七
水原利川間	一二、〇八	七、〇四
公州小井里間	九、〇六	九、〇六
晋州馬山間	一六、〇〇	九、一一
安州寧邊間	七、〇五	七、一二
淸津鏡城間	六、〇一	三、一八
群山公州間	一一、〇四	一二、二四
麻田洲新義州	〇、一三	●、一三
黃州凾停車場	〇、二八	〇、二八
海州龍塘浦間	一、二一	一、二一
海州江東間	三九、〇〇	〇、〇八
合計	一五二、二五	九八、〇八

此の既定計畫に基く未了改修道路の總里程は九十七里十七町の現在なり居るも右は十二月末日の現在なるが寒時休工の爲め其後大差なかるべし而して之が完成を遂げんには該豫算額以外更に九十三萬五千餘圓を要すべく依て內部は度支部に對し豫算の追加を要求して目下其交涉中なり一方度支部に在ても之が必要を認め居るのみならず道路の改修は延いて以て韓國開發上最急務に屬する所以なればとて其財源に就き調査中なりと云ふ

兇漢公判と批評

(十五日統監府着電)

安重根等被告事件に付「ダグラス」「ヤウデンスキー」安秉瓚等始め安の兄弟各新聞記者其他內外人の批評を聞くに公判庭の取調周密にして被告等も充分の陳述を爲さしめたるのみならず檢察官及辨護人の法律上及事實上の辨論も緻密にして且つ公平を保ち又公判廷及監獄に於ける裁告等の取扱も公平親切にして都督府法院及監獄の公平なることを認め滿足し居るものゝ如し殊に安秉瓚は「禹德淳、曹道元、柳江露は韓國刑法に依り處罰せらるゝ時は嚴刑に處せらるべきものなるに日本の刑法を適用して三年以下の懲役に處せられたるは全く恩典なりし」と友人に話したり尙安重根の從兄安明根は昨日到着せり

●土地調査局は未定

昨今の新聞紙上に三月一日より土地調査局の開始さる可き旨記載しあるが確聞する處によれば右は全然無根の虛報にして現に參與官會議にすら付議しあらざるが如し特に該事業は一千四百萬圓を投ずる大事業にして之に伴ふ準備の如きも頗る多端に亘り到底十數日の將來に於て開始し得べくもあらず實際夫れ程迄に準備の步を進め居らざるは事實なり且つ既定の計畫の如きも唯だ其參考に調査したる迄に過ぎずして果して此通り實施さるゝや或は又全然其規模を變更するや未定なりと而して現在の財產整理局は其前身なるが之が豫算は一、二、の兩月分として三萬七千圓を計上しあるも三月以後は追加豫算を要求し目下其手續中なり然れば該記事は過般既定豫算を見て傳へられたるものなるべしと云ふ

●城津燒拂事件救濟

日露戰役に於ける日人損害の救濟に關し城津居留地の被害は削除するの議ありしに對し一昨十四日午後統監府石塚長官に宛て兒玉政府委員より左の通りの電報ありたり

本日衆議院に於ける城津被害民救濟に關する請願委員會に於て大津代議士より昨年發布の法律に於て城津を除外せるの理由なることを質し又三浦代議士より被害狀況を質問し倉局長より答辯ありしも結局委員會は願意を採擇することに決定せり

本件に關しては議員より船舶の救濟等を合せて更に五十万圓を支出する法律案を提出せられたり

●被免暴徒使役狀況

南韓暴徒討伐の際捕虜となれる暴徒は特別の恩典を與へ之を解放し更に之を道路工事に強制使役しつゝあるが該道路は全羅南道海南を起點とし慶尙南道河東を終點とせる延長三十八里にして十二月二十一日より開始し使役中の暴徒は海南四十七人長興五十八人寶城三十七人筏橋六人順天八十一人合計二百二十九人あり其賃金は各地多少の高低あるも二十四錢乃至三十錢を給し其支給金の內より食費十二錢小遣錢八錢を引去り殘額を強制貯金とせり之が成績は時に不穩の報傳へられたるも槪して良好にして地方民の如きも一般安堵し且つ經濟上尠からぬ好影響を呈し居れりと云ふ

●船舶法と漁船取扱

別項所載の通り艦船法及び船舶檢查法の閣議に附せられしにつき其の漁船に關する內容を聞くに漁業專用船は免稅部類に入ることゝなり漁船に屬する汽船又は石油發動機船は從來二十噸以下にては檢査を受くることになり居れど其等が若し帆を備へ居らば之を帆船と見做して檢査を除外する樣取扱ふ筈にて尙は漁業專用船は直接に使用せずとて母船の如き漁船と離るべからざる關係あるものは其中に包含する巡邏船の如きも免稅の部類に包含せる由なり

●國民演說會の集會

國民大演說會は韓內閣及統監府に對し提出したる合邦反對建白書が今回其筋より却下されたるに對し十四日午後一時より幹事會を開き許會長より其顚末を報告し善後策を計りたるに其筋より却下されたるものは詮方なきも一進會の建議書に謂ふ所の二千萬民代表云々は虛構なれば此義を詳述したる建白書を統監府に提出し更に來る廿日大演說會を開催するを等を決議し午後三時散會せり時局に關する集會を禁止され居る今日警視廳は多分之を許可せざる可

●總理邸と壯士警衛

總相李完用氏は一度兇刄を受けてより頗る警戒を爲し居れるが十四日退院に先だち地方に體格力量衆に勝れたる壯士若干名を募りて同邸に起居せしめ以て萬一に備へ居れり尙一方警衛の方に於ても退院後正服巡查一名を增し特別任務に在る角袖巡查は數名を增加して同邸の附近を警戒し居れりと云ふ

●新政黨の組織運動

西北生れ祭基斗なるものは韓國の政黨を打つて一丸とせる模範的新政黨政友會(一說には一大宗敎團とも云ふ)を組織せんとて目下運動中なりとのことなるが祭は其の名も知られざる田舍漢なれば政黨を組織する等の手腕と人望は勿論ある筈なく例の獸法螺に過ぎずと

●閔宮相の放言取消

閔宮相が過日宮中の活動寫眞を陪覽せる際天定まれば人に勝つ杯と放言し暗に順川事件の前途を諷せる由新聞紙上に傳へられたるより宮相は位地境遇上の大危機なりと狼狽し片瀨滯留中の曾禰統監に其無根なるを辨解し送れりと

●韓銀出張所の廢止

韓國銀行は開城に出張所を設置し居たるが同地には漢湖農工銀行支店あり兩者並立の必要なしとの理由にて近く韓銀出張所の事務は全部農銀支店に引繼ぎたる上閉店する筈なりと聞けり

●統監より祝電到着

東上中の曾禰統監は李首相の退院に就き一昨十四日午后左の通り李首相に祝電を送られたりと云ふ

御退院の趣大慶至極玆に御喜び申す

●參與官の定例會議

昨十五日統監府會議室に於て參與官定例會議を開きたるが石塚長官、荒井、木內、俵、國分、小松の各參與官及び岩井警視等出席したりと云ふ

●順川の軍隊と警察

順川は今尙警戒を要すべきものあり平壤警察署長國友警視外二十三名の警察官、安藤憲兵分遣隊長藤井中尉以下二十七名の下士卒は目下同地に駐屯して日夜檢擧事務に鞅掌しつゝあり十四日迄に檢擧したるもの五十六名に及びたるが尙外に百餘名の連累者を出すべき見込なり而して暴動者は同市を距る四五里外の地に逃走して耶蘇敎徒の宅に潛伏し居れるが一般の人民は今更らながら其の輕擧を悔めるものゝ如しと

●船舶法の閣議提出

船舶法及び艦船檢查法に就て農商工部と度支部の意見合致したるを以て度支部にて農商工部の案に基き起草したる案は本日當り愈々閣議に提出する由

●理事官の敷地檢分

三浦京城理事官は學校敷地問題に就き傍觀中なるが昨十五日午後二時より實地檢分を遂げん爲め出發したりと

●同志一進懇親會

十三日夜國民同志贊成會及一進會の重立ちたるもの百餘名明月館に懇親宴を開き贊成會長及一進會副會長の挨拶外二三の演說あり各歡を盡して十一時頃散會したり

●野澤主事に賜金

過日順川暴民の爲め慘殺されたる同地財務署主事野澤辰三郎氏に對し生前の功勞を多とし特に三等五級に昇任せしめ尙ほ四千二百圓下賜せられたり因みに同氏の妻女は近く當地を經て歸鄉すべしと云へり

●大岡社長の東上

京城日報社長大岡力氏は來る十七日午前九時南大門發の列車にて東上の豫定なりと云ふ

京城民會の開會

敷地問題に關し物議沸騰せる京城居留民會は今十五日午後六時三十分より開催し櫻井町案及中井敷地案に就き討議する筈なるが今兩派の形勢を看取するに目下必死に運動を試み居るが如きも大勢は櫻井町案に決し居れりと併し該兩派の事は既に利害問題を離れて感情問題に奔り居れば兩分八ケ間敷き議論頻出すべし委細は次號に報道せん

●鶴岡氏出發東上

今般農商工部書記官を辭し英京倫敦に向はんとする鶴岡永太郎氏は昨十五日午前九時南大門發の汽車にて東上したるが見送人は楠井、鈴木、菊池、中村、澤田等の各局長、若林警視總監、吉原東拓副總裁及び新聞記者、紅裙連等數百名なりしと

●晴氣少佐の轉任

步兵第四十七聯隊に轉任を命せられたる步兵少佐晴氣市藏氏は事務引繼の爲め十五日夜龍山に來り結了次第新任地へ出發する筈

●林陸軍少佐歸任

敎育總監部會議に列席の爲め上京中なりし林少佐は昨十四日夜龍山に歸任したりと云ふ

●安島中佐の入京　[illegible]安島憲兵中佐は十四日夜新義州より入京せり

●松岡美雄氏退京　[illegible]

●森本所長の入京　[illegible]長の同氏は十四日入京

●守田六男氏入京　[illegible]長の同氏は十四日入京

●安藤所長の入京　[illegible]長の同氏は十四日入京

●宮崎喜久太郎氏　巴城館に滯在中なりし貴族院議員の同氏は十四日釜山に[illegible]

●足立重郎氏退京　十四日[illegible]

●取消　京城新報第三百三十四號[illegible]駐箚軍の疑獄平と題する記事[illegible]部に於て何等之に類する事實無根の事に候條[illegible]五條に據り取消相成度候　明治四十三年二月十五日　[illegible]令部印　京城新報社御中

▲治外法權▼

伊藤公をハルピンで狙擊した安重根は愈々死刑の宣告を受けた、人を謀殺した者が死刑に處せられるのは當然で、法律の上からは何も不思議はない[illegible]博徒が泥棒を殺したの[illegible]の一朝鮮人が伊藤公を[illegible]たのも又同じことだ、[illegible]ふ者は妙なものでナ[illegible]けでは物足らぬ樣に[illegible]も伊公と云ふ大人物を[illegible]やつた安は或る意味に[illegible]のだ▲宇佐川東拓總裁[illegible]記者に語つて新聞記事[illegible]是は『譯らぬ話を記載した』と云[illegible]ぬ事を記載した[illegible]譯らぬ話と云ふのは[illegible]味か▲イヤ總裁自身が[illegible]でもあらふ彼れも又已れ[illegible]ぬ事は宜敷く止めて置[illegible]間違ひ無いのだ▲別項[illegible]長官の韓國鐵道內容談[illegible]の分基點は太田に決定[illegible]然るに公州や鳥致院の[illegible]局者を頼りに訪問して[illegible]居る▲然るに當局者は[illegible]與へぬそうだ、隨分罪[illegible]居るものなら早く其罪[illegible]手間を入れさゝぬやう[illegible]そうなものに▲處が一[illegible]員は大屋長官を盲目だ[illegible]それは測量もせず地形[illegible]僅かに短かきを聞いて[illegible]とる▲東京相撲の入百[illegible]入百長と云ふ詞、否[illegible]りに流行する議會も入[illegible]も入百長、喧嘩も入百[illegible]なるかな、入百長なる[illegible]上手な奴がつまり生[illegible]るであらふ。



巧妙なる詐欺師（上）

韓装の自稱少尉……新町桃山を荒し盡し……井門支店を鍜新町にて逮捕

去る一月末より本月十三四日頃迄の間に當地新町遊廓を初め龍山桃山の諸樓に登樓して酒を飲み女を抱き散々遊び散した上其の飲み代を踏み倒した許りでなく敵妓女郎の持物を手當り次第に窃み出て巧妙なる詐偽を働く賊ありて其被害頗々たるより其の筋にては過日來種々苦心捜索中の處逐に去る十四日午後四時頃新町の清月樓にて玉絹と云ふ女郎を敵妓に闘衾中を逮捕するに至りたりと云ふが今本社の探り得たる處を記さんに去る八日の夕刻新町遊廓は井門支店に登樓なしたる韓装の一美男子あり仲居のれ里と云ふが招じて案内なしたるが韓装はなし居れど正しく日本人に相違なく而も其の相貌の何となく故郷東京銀座通りにて見懸けたる同所の富豪松下某の子息に似通ひたるより火鉢を挾んで話の理『もしや貴下は銀座松下さんの御子息ではありませんか』と尋ねしに件の男は不審顔して『可く知つてるね、僕は松下ぢやが……』と云ふが機會となつて身分話の末が目下自分は陸軍少尉に在職少しく所用あつて來韓中なれど少々金の都合も悪く同郷とあれば前に頼むとあつて東京銀座の親元と云ふ松下に金百圓送れと云ふ電報を前記れ里に依頼なしければれ里もすつかり信用なしそれよりは文子と云ふを揚げて一散財をなし五圓某の勘定を支拂ひて其の晩は宿泊翌十日も十一日も居續なして不相變らず文子政子等を對手に飲み流し時折入百八十四番の藤田四百五十五番の東などに電話を掛けまだ金は來ぬか杯と尋ね居たりしが同日晩となつて會計検査局藤田宛外二通の書面を認め是をれ里に持参せしめしが皆々不得要領にて最后の一通を親衛府に持参なしたる處同所の執官立出で『那様不埒な軍人は兹には居らん、何處から來たか』と訊かれしもふかく信用なし居るれ里は云ふて可きやら悪きやら其のまゝ井門に立歸りて右の由を申立てしかば樓主も初めて疑念を生じ文子を呼んで同人の擧動を聞き居たる其の間に自稱少尉の松下は銘仙耕の文子が羽織を一枚ひッ抱れ裏門より窃つと逃亡なしたるより同樓の騒ぎとなりたりと云ふが是が爲め仲居れ里は支拂金や雜品の取替へ金の五十二圓二十五錢と云ふを衣類迄質入れなして樓主に支拂ひ濟し置きたる者一切が水となりしより泣きの涙にて時ぎ居れりとは氣の毒至極なり而も何處迄も圖うくしき自稱義下は肖九州旅館等より電話にて歌舞伎座附近の井出と云ふへ金を受取りに來よ抔と弄び居たりしと云ふが此の男こそ以前通信管理局の雇なりし竹下喜三郎と云ふ好妙なる詐偽師にして何處にても斯くの如き手段を用ひ飲み食ひ倒しの上窃盗をして逃亡する由にて仲居れ里もつい松下某と云ふ似顔が斯くの始末となり甘々一パイ懸けられし者と判明せしが此の訴へに接したる南部の長野刑事は是こう去月末より京龍間の遊廓を荒し廻れる白徒に相違なしと目星を附けて探索中十三日の夜又もや肝太くも新町清月樓に登樓なし玉絹と云ふを敵妓に一夜を仕切り翌午後迄居續け二圓三十錢の玉代不足となりて尚同衾し居たる處へ同刑事踏込んで韓人服装と左腕の繃帯を證據に取つて押ねたりと云ふ（つゞく）

又も石戰沙汰

▲孔徳里の裏山に於て

一昨十四日午後三時孔徳里附近に於て石戰ありとの報告龍山署に達せしを以て谷川警部は部下の日韓巡査十餘名を率ゐて現場に駈着けしに孔徳里裏手の丘阜に於て壮丁數百名石戰の眞最中なりしかば直ちに解散を命じ其中の重立ちたる二名を押へ午後六時頃龍山署に引上げたり

無暴なる清人

▲巡査部長重傷を負ふ

昨朝九時憲兵隊に着したる電報によれば一昨夜咸鏡南道惠山鎮居住支那人間の賭博を警察署にて檢擧せんとし賭場に向ひたるに多數の支那人は警察官に暴行し巡査部長を毆打重傷を負はしめたるより警察官は警鐘を打ち援助を求めたるを以て憲兵守備隊應援し暴行支那人二十名を取押へ警察に留置中なるが同地支那人は之を取戻さんとし不穩の擧動あるを以て警戒中なる由

●五圓の火事で大騒

▲毎度の事故無理もなし

數度の火災に心を寒からしめたる仁川市民は又しても昨朝午前九時四十分頃打ち鳴らす警鐘に驚かされて素破火事よとばかり表に飛んで出で火元は何處と眺むれ共更らに火の手も揚らざるにぞ審しみ居る内今度は日本公園内の望火樓よりも一層激しく半鐘を鳴らし其れと共に本願寺の鐘さへあはたゞしく撞くものから夫れ敷島が火事だと誰云ふとなく傳へられ我遅れじと東を指して駈くるものありと云ふ騒ぎに一時は市中上を下への混雜を極めしが現在の火元と云ふは同地松坂町二丁目菓子製造業富田純一方住宅の煙突より發火し藁屋根に燃へ移りて大事に至らんとせしが附近の人々逸早く駈け附けてアワヽよくも消し止むるを得たるが損害は僅かに五圓なるにも拘はらず市中の騒動は一時非常なるものなりき

●借金踏倒の莫連女

▲元は門司市の足抜女郎

熊本縣八代郡太田村梅田のぶ（三）は四十年十二月より門司市に於て娼妓稼業中四十二年三月十五日其情夫通稱髭常と稱する惡漢に誘拐せられて渡韓し爾來情夫と共に京城長谷川町飲食店池田よね方及龍山新市街松葉方等にて酌婦契約にて前借を爲しては樓込み數日ならずして種々の口實を設けて休業し親方をぢらし隙を見ては借金を踏倒して逃走するなど惡事をのみ働き居しが門司なる前抱主はのぶ等が京龍地方に潜み居る由を聞き代人浦上市松を龍山に遣り取押へ方を警察署に願出でしにより警察にて捜索し同人が京城青葉町都すし方に奉公中なるを發見し直ちに取押へて前記浦上に引渡せり

●日人庇護の韓人

順川の暴動は曩きに報導したる如く頗る酸鼻を極め或は石を以て面部を毆打し或は兇器を以て慘殺し就中三四の韓婦人にして此等暴動に加擔して我が無辜の邦人を殺害したるに之れは又敢心にも斯の暴擧に参加せざるのみか種々なる方法を以て我邦人を庇護したる韓人あり金任責なるものは野澤妻子を李應泰は郵便局員の妻子朴養星に木村の妻子及歌師木島榮藏韓西喜は西喜一郎朴召史は中島の妻及二名の子供を各々危險の中より救ひ出したるものなるが其の行や實に嘉すべきなり

●不憫なる類燒者

仁川濱町四丁目五番地阪チヨと云ふは一昨日當年五歳の養子傳次を連れ過般の大火に燒出されて其日の糊口に窮する旨仁川民團に屆出でければ同民團よりは取敢へず金五圓を與へ東郷旅館に無料宿泊方世話したりと云ふ

●嬰兒の死體發見

仁川花町四丁目海岸に生後五日を經過したる嬰兒の死体漂着せるを發見し其筋の檢視を受け一昨日仁川民團にて假埋葬に附したり

●金縁女郎の遠征

仁川の金縁眼鏡女郎として其名も高き敷島支店の光良は一昨日其筋に廢業屆を差出し一兩日中清國營口に遠征しチャンコロ對手に得意の凄腕を揮ふ由

●各妓樓の寄贈

去る十一日の仁川大火に際し同地の一富士樓朝日樓日進樓は各多數の握飯を消防組に寄贈したりとは奇特の事共なり

●女郎小房の廢業

仁川敷島遊廓喜安樓の抱娼妓小房同九十九は一昨日廢業せり

●大嶺師托鉢修行

禪臨濟宗妙心寺派布敎師圓山太嶺師は今回寺院設立認可せられたるに付初音町二丁目に假布敎所を置き布敎の爲め托鉢修行する由尙家庭法話等の請に應ずると云ふ

●●●歌舞伎座

同座本晩の替り狂言は順送りとなりて十三日の出し物『海底電信』の通し物との事之れが爲め嫁が淵も當然順送りの筈なり

●本晩の桃中軒

好評拍手を以て連夜歡乎の裡に迎ねられつゝある壽座桃中軒の本晩は左の如し

一大石内藏之助南部坂雪の別れ、
一不破數右衛門の滑稽

向笠霞州の筑前琵琶としては

一石童丸

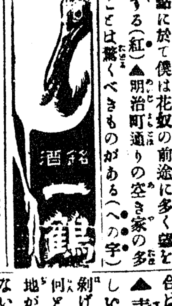
●五雲會の狂言

來る二十七日の日曜午前十時より大和町三丁目梅の屋に於て問會能狂言開催の由にて其の番組は左の如し

番組（第卅八回）△海人 志賀氏、大節瀬氏、三浦氏△飯 阿内氏、熊谷氏△鞍馬天狗 小竹氏、牛淺井氏 坪井氏△弱法師 大久保氏、上部氏△熊野 小杉氏、ッ安西氏、吉田氏△花月 高木氏、和田氏△富麻 河合氏、ッ増戸氏、西尾氏

▲平民文庫▼

▲去る十二日の午後十一時半頃花月樓の横丁に通り蒐るどうんざん、せんざい、わたり屋と招牌掲げたる術を下して七輪の下をバタ〳〵云はせて居る所謂あたりやの主人公の耳に近く口を寄せて何やら囁いて電光石火身を退いた人がある▲仔細ぞあらんと見とめられぬを幸ひと電信柱を小楯にとつて熟々其の人の爲ん術を窺ふ者のありとは神ならぬ彼人等の知るはづはない▲うどん屋君はハタ〳〵と火の粉を散らして鍋燒うどん製造に餘念ない▲電光石火君は他人もや來る見付けられては一大事と云ふ如に八方に眼を配つて御座る▲●●●てうどんが出來る電光石火君は樽箱の蔭に躊躇つてツルすく〳〵と美味そうに二杯を平げ、口を拭つて威容堂々と何に食はぬ顔して立ち去つた人を抑も誰とかなす▲と夫れ程六ケ敷く云ふには當らぬが制服制帽帯劍の査公にツツクである▲寒いから無理はないさ（風聞子）●▲僕は毎夜午後十二時頃迄市中を歩行する者なるが何日も瓦斯會社の不注意には驚く先達ても南山町一丁目の細き坂道で長深き穴を掘つて燈火も點けずに置くから危險極まる敢て此所斗りでなく全體が左様だ經費節減の上から無理はなからうが大した事でもない往來安全を計られたい（夜行子）●▲花月の花奴は其の妾が頗る振るつて居る接待振りも若いに似合はず人見知りをせずに勤める所に味がある元來宴席なぞでは知り人の多い名の聞ねた人は其れ程取り持つ必要はないのだ浮かぬ振はぬ人を浮かし振はす可くする所に於て藝妓の價値は出て來るのである此の點に於て僕は花奴の前途に多く望を囑する（紅）▲明治町通りの空き家の多いことは驚くべきものがある（への字）



吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

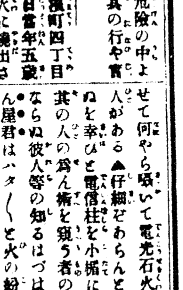
二月十六日舊正月六日●一白赤口壬子闘入専入り△一白 厄運日なり旅行轉住凶新事及び變更の事効なし△二黑 爭論及び軋轢あり新事見合せの事●裁判婚姻相談依頼徒勞に歸す△三碧 取引上取組の事効あり紛料事は解決に妙盗難遺失防ぐべし△四緑 不意の散財失費多し中絶衝突爭論避くべし△五黃 不振の日なり新事見合せの事紛爭盗害避くべし△六白 收利快心事あり爭論若くは裁判談判の事端起らん△七赤 近親家庭上の事煩勞わらん其他概して快欣の日とす△八白 澁滯に流れ易き日なり子弟の爲めに謀る事先好し△九紫 恩を施し仇に報はるゝ事あり其他不事の日謹愼を要す

●天氣豫報（自十五日午後六時 至十六日午後六時）

南西の風晴

十四日（華氏） 最高溫度 二七、〇 最低溫度 一四、二

●令嬢時代の告白



秀才の外交官……到底も行かれぬ
兄さんは迫る……半年たゝぬ間に

▲忘れもせぬ 去年の十月十五日妾は結婚を申込まれました、その方は妾の兄さんと同じ學校を卒業した人で妾が兄さんに伴れられて染井の菊を見に行つた時に妾を見染めたとの事、其方の噂は豫て兄さんから伺つて知つて居た、學校に在らつしやる時からの秀才で、外交官の試驗にも及第なすつたのださうな、こんな立派な方の夫人になつて、交際社會へ打て出られる身の果報は嬉しいには限りがないけれど、妾には人に云はれぬ

▲一つの心配 がある、別段深い秘密と云ふ程の事ではないが、妾が此儘あの方へ默つて嫁いで了へば、妾は人を欺くことになる、あの方が染井で見られた時の妾は、自然の生地を其儘に見せた女ではなかつた、妾は生れついて皮膚の色澤が悪い、肌理が粗い、皆さんは妾を厚化粧のこつてり作りだと仰るけれど薄化粧では妾の皮膚に合はぬ、

▲素顔は尚更 見られるのも恥がしい、白粉で胡魔化した一時の粧ひが剝げて生地を現はした時の恥かしさを何とせう、一生夫と侍くべき人に此生地が隠しきれやう筈がない、願つてもない此縁談、行きたいは山々だけれど此儘では到底行かれぬ、されば云つて斷つて了ふのも惜しい、濟まないとだが、妾はこんな體に産で與た阿母樣を怨みました、

◎一年後の安心

▲いやか應か 妾の返事は此兩つの中の何方かに定めねばならぬ、『行く氣はないか』と兄さんは迫る、『願つてもない方ぢやないか』と阿母樣は勸める、『何卒もう少し考へさせて頂戴』と妾は一月二月と返事を延ばした、その間、化粧と云ふ化粧の秘訣を色々と研究したけれど矢張り駄目であつた、妾はつく〳〵此世が厭になつた、あの縁談を斷つて了ふ位なら、寧そ死んだ方が優だと幾夜が泣明した、處が妾は一日不圖

▲不思議な事 を發見した、それは房州から妾の家へ下婢に來た女が、半歳たゝぬ間に見違へたほど色が美くなつて來た事である、何を使つて彼様に皮膚が綺麗になつたのかさ、それなく氣を付けて居ると、下婢は毎日缺かさず『クラブ洗粉』を使つて居る、洗粉ぐらゐでは駄目だとは思つたが、妾も『クラブ洗粉』を取寄せて試みに使つて見ると、然程効驗はないけれど、下婢に効能のあつた物が妾に効能のない筈はないさ、氣永く試みた一年後の今日今夜、あの方の花嫁として安心して迎へられる事の出來る

▲美しい皮膚 となつたのは全く『クラブ洗粉』のお蔭である、玉川の水に晒す布も一夜で遂に眞白になるものではない、永く使つて居る中に自づと皮膚の肌理を和らげ、段々色澤を美しくする『クラブ洗粉』の特色は、布を自然に白くする玉川の水に酷似て居るではありませんか

●天然の美質

▲皮膚の日焦 日光に焦ける理由は、異皮の刺戟されて盛に色素を製造するを、色素細胞が之を運搬して表皮に現れ來る爲なりと、然らば色の黒白は生來にあらず、皮膚だに美はしからば何時か白玉の光を放つ事を得べし、

◎十二月七日の中央新聞曰く

日本一の洗粉と稱さるゝクラブ洗粉は改良に改良を加へて原料の精選に熱中し包裝の意匠も殆ど間然する所なく、上はやんごとなき貴婦人令嬢より使用に至る迄使用せざる者なく日夜製造に忙殺さるゝ有様にて昨今クリスマスの贈答品として外人間に好評を博し又歳末年始の贈答用として賣行旺なり、

▲黒人の理由 日に晒されて黒くなりし親が子を産み其の子が黒くなりて又黒き子を産む、黒人の黒きは此の遺傳なり、黒人を寒地に移せば白く成る事、猶白人の熱帯地方に住ひて黒くなるに等しとかや、黄色も亦其理由が

▲洗粉の効能 クラブ洗粉の主張は肌理を細に美はしからしむるにあり色を白くするの能も學理上是を認むと雖も、確證なき中は効能に數へずと、由來商品に掛値多し、自信を述べて毫末も誇張せざる處に異の價値存す、

▲十日畫一水 五日畫一石、能事不受相促迫、これ李白が王宰の畫に題するの語、移して以て吾人麗世の誡めとなすべし、忽ちにして美人となり忽ちにして美少年となる、幵は俳優が樂屋の手品、地質の美化は徐々にあり

▲丈夫の覺悟 齋藤實盛は死に臨みて髪を染め、廣瀬大佐は洗面湯を用ひず、誰か是をしやれ者と言はんや、名を重ずる者は身を重ぜよ、丈夫の化粧は色に非ず、天然美の發揚、

▲千代の俳句 何着ても美しうなる月夜哉加賀の千代の句也、月は總ての物を詩化して其光の裡に籠れたる色を包む、月は天然なり、皮膚の健全と色澤の美を有するに至らば、身體自から月の光を放ち、何着ても美しからん

▲漆工は木地 を選ぶ彫工は地金を擇ぶ、地質佳ならずんば、化粧を施し美服を飾りて内容の醜益外に現れん、先クラブ洗粉を以て其の質を[illegible]せよ、而して後初めて漆工彫工の技倆を用ひよこれ天然自然の順序なれば也

公告

第四號
一金六十圓也 民團教育基金寄附
右ハ京城地方裁判所横田俊夫殿ヨリ亡母鑑代子紀念ノ爲メ御寄附相成候條此段公告ス
明治四十三年二月十四日
京城居留民團民長 古城 管堂

第五號
一金貳拾五圓 民團教育基金寄附
右ハ熊本縣士族折倉壽生殿ヨリ亡一康殿追悼紀念ノ爲メ御寄附相成候條此段公告ス
明治四十三年二月十四日
京城居留民團民長 古城 管堂

美術半襟帶締其他組紐類各種

京城明治町一丁目 電話一千四百〇九

ゑり德商店

▲無料紹介欄▼

入事部

十五歳位の小供入用 希望者は來れ 三井物產京城支店

十六歳の女子高等官舍へ入用 上女中 十五年以上女中見習たし 伴給望まず 氏名在社

物件部

店員雇入 十四五歳の者希望者來訪あれ 日の出町下山商行(電一〇〇七)

貸家 西大門内獨國領事館隣六疊三間四疊半並に炊事場付格安に貸したし 御用の水方へ

電話譲渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 贊化堂藥店

老舗譲渡 本町一丁目拔の場所多年賣込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居拔の儘至急譲渡したし 旭町一の六〇 山村

貸家 南大門外吉野町一戸建間數三間家賃十七圓外に長屋建もあり停車場に近く出入便希望の方は電話七四番

求貸家 水樂町二三丁目にて貸家を求む見一人温突ならば最佳 氏名在社

廣告

診察時間改正廣告

一月一日より松村先生診察時間左の通り改正す

自午前九時至正午

但他は從前の通り

龍山榮町(電話六〇三番)

龍山醫院

龍山元町二丁目

佐藤病院

電話一〇三番

龍山新市街山下町

内科 小兒科 眼科

原醫院

入院隨意

入院隨意

内科 外科 小兒科 梅毒淋病

京城壽町三丁目

高井醫院

電話(二一六)

院長 陸軍軍醫正 高井貞治

入院隨意

京城壽町三丁目(電話三七八番)

中島醫院

院主 醫學得業士 中島貞信

上等石炭各種

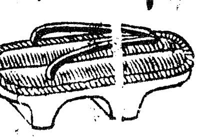
並に無煙炭販賣

京城本町二丁目

林田交換所

電話六十五番

東京足袋



正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

本店東京

京城大和町一丁目(日の出橋際)

大和屋

藤井出張店

電話二百〇五番

明治町勸商場内ニモ出張店アリ

きゝめのある温泉湯

此の温泉は左の如き病に最も妙なり

一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も效能あり

京城本町二丁目郵便局前

貸席 鐵冷温泉

電話千四百十一番

●唐津石炭直輸入商

並ニ平壤無煙炭あり

京城太平町一丁目九五 南大門高等女學校裏通り

近藤商店

電話八百三十五番

醫學士北村一等軍醫正(呼吸器病及消化病擔任)を名譽院長とし其他院長以下各科分擔一般の診療に從事す

但し名譽院長出診は毎偶數日(丁日)午後とす

病室落成 入院隨意 貧民施療

贊化病院

本町四丁目 電話二四番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店

米國ウオルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店

獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店

時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番

時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

生儀多年福岡醫科大學皮膚科教室(皮膚病黴毒泌尿生殖器科教室)奉職の處今般辭職左の處に開業專ら皮膚病黴毒痳病膀胱病生殖器機能障碍の診療に從事

診療(午前自八時午前二時迄 夜間自五時九時迄)

入院隨意

南大門通三丁目

支那領事館前通 京城郵便局後

院主 佐藤伊藏

佐藤皮膚病院

電話一一七三番

荒物世帶道具一切

大阪合製白絞油和洋蠟燭

和傘岐阜提灯魚釣道具

卸小賣

地方在住の各位には御申越あり次第代金引替小包郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候

城本町六丁目

西崎嘉七本店

電話長二一〇 電略(ニカ又はニ) 振替貯金口座東京(九四一七番)

荒物世帶道具

各國諸油米穀

銘酒濁酒 アサヒ サッポロ 麥酒

並に買次業

辯護士 特許辯理士

岩田仙宗

京城明治町二丁目(佛國敎會前)

電話三五四番

石川高等法院判事閣下校閲 今村内部警務局警視閣下校閲 日韓印刷株式會社編輯部編纂

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

◎印刷鮮明 ◎綴集整然 ◎校正嚴密 ◎携帶便利

●全一冊●紙數凡六百頁○菊版半截形●定價金六十錢

右發賣致候以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層努力致し大日本協約官制、宮規、各等級及俸給其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に増加し本月一日の現行法規として些の遺漏なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、餘白を存して隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御高需に應じ可申此際續々御用仰せ付られ度事願上候敬具

明治四十二年十二月一日

京城

日韓印刷株式會社出版部

改修落成と電話開通

久しく改修中の處彌々落成仕候間不相變御贔負の程願ます

京城旭町二丁目(名古屋城横へ入る)

待合 醉月

電話二六五番

資本金 一千萬圓

積立金 五百四十萬圓

株式會社 第一銀行京城支店

電話一一番 六一一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

本店 東京市日本橋區兜町

支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大阪町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、

其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

味噌 漬物 醤油 卸問屋

京城本町五丁目

特約販賣 自製

大上商店

(電話二五一番)

和洋酒、罐詰、酢、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

外科 内科

梅毒痳病專門

戸田病院

●京城御成町南大門外一丁南

●入院隨意

●電話番號九三八番



京城光化門通

淺田洋服店

店主 大島專藏

(電話四百十三番)

胃腸消化新劑

ヂヤスタリン ヂゲスチン

澱粉消化 蛋白脂消化

錠劑十日分(三十粒入一瓶)二十錢 散劑一オンス入(一瓶)二圓二十錢 錠劑十日分(三十粒入一瓶)三十錢 散劑一オンス入(一瓶)二圓四十錢

右は最近内地に於て急激の needed...

●大韓醫院御用藥

韓國一手賣捌元 京城光化門通

大島專藏

蒸、搾 牛乳 消毒

京城大和町一丁目

平山牧場

電話二一

たやすくうります

綿わた綿ワタ

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類

京城明治町一丁目四ッ角

卸問屋

唐川商店

電話二六一番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓

積立及繰越金 九拾五萬圓

株式會社 十八銀行京城支店

京城南大門通 (電話四二〇)

本店 長崎市濱町

支店 出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

韓國 日本

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金(一口壹錢以上何程にても御預り申候)(利息日歩壹錢四厘)

長崎貯蓄銀行代理店

(十八銀行京城支店)

★株式會社百三十銀行韓國總支店

京城本町二丁目十五番

電話五十八番

資本金五百萬圓

頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市

東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪

東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、高崎、松本、青森、秋田、能代、土崎、高崎

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟

山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田

山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、細工

南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、申本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱

西海道 直方、飯塚、博多、福岡、久留米、若松、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、熊本

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 臺北、臺南

清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尚州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社

瀛船出帆告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 電話三九番

郡回漕店

電話十番

●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 二月 日後三時出

●大連行 相模丸 二月十五日正午時出

●大連、太沽行 山東丸 三月二日 午前六時出

●大連太沽行 酒田丸 三月 五日正午時出

●釜山出帆 元山、淸津、浦鹽行 京神丸 二月十六日午後時出

御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事